

# 北海道発 AI・データサイエンス教育 ・データ駆動型融合研究 特別セッション

参加登録  
はこちら



日 時：令和8年 2月20日 (金)

第一セッション (主催:D-RED) 9:00- 10:10

第二セッション (主催:D-RED) 10:30- 11:55

第三セッション (主催:MDSC) 13:00- 14:00

会 場：《ハイブリッド開催》

・ 北海道大学 情報科学研究院棟/A21講義室

会場アクセス：

<https://www.ist.hokudai.ac.jp/access/>



・ Web配信(オンライン)

参加費：無料

定 員 (会場参加)：120名

(オンライン参加)：500名程度

お問合せ：北海道大学 データ駆動型融合研究創発拠点 (D-RED)

E-mail : [d-red\\_soumu@research.hokudai.ac.jp](mailto:d-red_soumu@research.hokudai.ac.jp)

北海道大学 数理・データサイエンス教育研究センター (MDSC)

E-mail : [mdsc@academic.hokudai.ac.jp](mailto:mdsc@academic.hokudai.ac.jp)

# ご案内およびお申込み

## 北海道発 AI・データサイエンス教育・データ駆動型融合研究特別セッション

本セッションは、「AI・データサイエンス教育・データ駆動型融合研究」と題し、北海道大学においてデジタル人材を育成する2つの組織である、データ駆動型融合研究創発拠点(D-RED)および数理・データサイエンス教育研究センター(MDSC)による合同シンポジウムである。

第一セッションでは、地域課題解決につながるデジタル人材育成に関する内容、北海道内に展開しているリスクリキングプログラムについての話題提供を行います。また、第二セッションでは、D-RED内の各ユニットおよび情報科学研究院で実施されているNEXCO東日本グループ、北海道開発局、住友ゴム工業、ニトリホールディングスとの連携による若手研究者・学生により実施されている「データ駆動型の異分野融合研究」の具体的な取組についての講演を行います。

さらに第三セッションでは、国立情報学研究所教授、政策研究大学院大学教授などを歴任され、前在エストニア大使の北岡元先生をお迎えし、特別講演を行っていただきます。

セッションテーマにご関心のあるすべての方のご参加をお待ちしております。

### 9:00-10:10 第一セッション (主催:D-RED)

#### データサイエンス教育・リスク

「北海道大学データ駆動型融合研究創発拠点(D-RED)および数理・データサイエンス教育研究センター(MDSC)における取組～AI利活用研究の推進を軸としたデータ駆動型融合研究と課題解決に向けたデータサイエンス教育～」

長谷山 美紀 (北海道大学)

「北海道大学デジタルリスクリキングプログラムの開発と運用～Phase 2の総括およびPhase 3の現状～」

鶴川 久 (北海道大学)

「北海道大学デジタルリスクリキングプログラム(DREP)における地域課題解決コースの取組」

前田 圭介 (北海道大学)

「北海道大学における数理・データサイエンス教育プログラム」

田中 孝之 (北海道大学)

座長：水谷 祐輔 (北海道大学)

### 13:00-14:00 第三セッション (主催:MDSC)

#### 世界動向

講師：北岡 元 先生

「ネクスト・インテリジェンス～高度情報化時代に「利益を実現する知識」を生むモデルと教育～」

(一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会理事／前在エストニア日本大使館特命全権大使)

座長：田中 孝之(北海道大学)

○お申込み：

参加ご希望の方は、枠内右下のQRコードから、お名前、ご所属、ご連絡先、参加方法(現地・オンライン)をご登録ください。  
オンライン参加される方には後日メールにて当日の参加URLをお送りいたします。

○参加登録 締め切り：令和 8年 2月16日(月) 17:00〆切

締め切り延長：2月19日13:00〆切

○留意事項：

ご登録頂いた個人情報は本セッションの実施にのみ利用します。  
なお、「会場参加」につきましては、定員になり次第、締め切らせていただきます。



参加登録フォームURL：  
<https://forms.gle/7go7p3EqPDoWML9AA>

同日開催

2025年度 数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム 北海道ブロックシンポジウム

北海道ブロックシンポジウム講演 14:30-16:50

会場：北海道大学 情報科学研究院棟2階 A21講義室 (会場120名、オンライン500名程度)

